



政治はあなたの暮らしを良くする道具です

発行：小金井・生活者ネットワーク  
発行責任者：田頭祐子

いま、考えよう

# はげに道路を作らせて良いの？

はげと野川を分断する都市計画道路2路線が第4次事業化計画優先整備路線に選定され、来

年で丸10年になります。この間、市民の反対運動や議会での意見書等で都に見直しを求めてきました。しかし、今年2月に白井亨市長が優先整備路線の検証結果を受けて「3・4・11号線の必要性は否めない」とし、自然環境に配慮した道路構造にすることを都に求めると公表。2022年の市長選で掲げた公約に反する内容であり、また、報告書に記載された専門家の見解の記述が不適切だったことから議会は紛糾。その後、市長報告は取り消され発言も撤回されました。

昨年11月に開催された都主催のオープンハウスでは3・4・11号線について、渋滞緩和などメリットを強調。橋梁構造が最適との考えを示し、環境概況調査で貴重な動植物の生息が確認されたにも関わらず「影響は限定的」と断じるなど、事業化ありきの姿勢を崩そうとしません。そんな硬直化した都に對抗し、広く道路反対の思いを伝えたい、と企画されたのが4月25日から3日間、宮地楽器ホールで開催された

はげ ZINE (ハケジン/A5版 40P)  
頒布価格 1,100円。購入希望の方はメールにて。hakebun@gmail.com



はげと野川の文化祭トークセッションの様子



「はげと野川の文化祭(主催：はげの自然と文化をまもる会)」です。パネル展示では、国分寺崖線の成り立ち、高度成長期のドブ川から清流への復活、はらっぱを守る市民運動や生物多様性の視点、都市計画道路の問題点などを紹介しました。また「はげの手アニメーション」とコラボし、はげから採取した自然素材を材料に子どもたちがはげの生き物を作るワークショップを開催。多くの親子で賑わいました。小ホールでは「はげの緑は誰のもの？」と題し、野生動物保全生態学の高槻成紀さん、環境倫理学の吉永明弘さん、野外保育を実践する邦永洋子さんが三者三様の視点ではげの環境について語るトークセッションが行われました。また、文化祭に合わせ、はげと野川への思いを集めた小冊子「はげZINE」を制作・発行。山崎ナオコさんなど著名人にも寄稿していただき、特別な一冊が完成しました。「自然環境に配慮しながら道路を作る」という考えは、自然は管理できるという傲慢な態度であり、そのような姿勢が日本の自然を破壊してきたことを反省することなしに私たちの社会に未来はない、という高槻先生の言葉が印象に残りました。文化祭を通してたくさんの方とはげと野川を愛する気持ちを共有し、新しいつながりが生まれたことも財産になりました。共感の輪を広げていきたいです。(安田けいこ)

3・4・11号線完成予想図(武蔵野公園)



## 市議選



市民の議席は守られた！  
市議選2025

安田けいこ第8位で当選！  
2期目始動

今回の市議選は24議席を34人が競いました。2期目に挑戦した安田けいこは1635票、第8位で当選できました。国政政党含め新人7人が当選し、投票率は約4%アップ。YouTubeなどインターネットの影響を強く感じた選挙でした。

だから「市民の議席」

東京・生活者ネットワークからは、岩永やす代都議会議員はじめ各地のネット議員が連日

援に入ってくれました。生活者ネットワークの議員たちは日頃から、議会活動や市民活動の情報交換や調査、学習会活動など交流が盛んです。安田けいこは子ども部会、女性部会で、毎月の「フラワー遊説」でのDV、性暴力廃絶の訴えや「香害」、「ワクチン副反応」などの子どもたちの健康被害について共に学び行動しています。何やお弁当配達など地域福祉活動の仲間たちからの声、情報がもともとあったので、そこから議会での質問や予算要望に繋げられました。だからこそ「市民の議席」です。

1期目で培った繋げる力を、2期目、さらに広げ強化します。(田頭祐子)

最終日、地域ネットの仲間たちが参集



## 都議選

市民政策で都議会に切り込む漢人あきこさんを応援！

小金井からただ一人を選出！PFASも都市計画道路もいらない！

6月22日の都議選では、東京・生活者ネットワークは漢人あきこさんを推薦します。

4年前、初めて漢人あきこさんは都議に当選。この4年間、市議の経験を活かし、環境優先、ジェンダー平等のまちづくりや都市計画道路問題など、力強く都政に切り込む漢人あきこさんを小金井ネットは応援し、連携してきました。

私たち市民の声を聴き、そこから政策や議会質問を共に作る都議会議員がいると(それはまさにネットの政治スタイルでもあります)こんなにも都政が近くなり、変化が見えるようになるものかと実感しました。



3月の市議選で、安田けいこの応援に駆け付けた漢人あきこ都議とシロクマンシロベエ。右は東京ネットの岩永やす代都議(国立・国分寺選出)

これからの4年間も、小金井からたった一人しか選出されない都議会議員は、漢人あきこさん以外に考えられません。都計道路問題だけでなく、地下水のPFAS汚染、都市農業と緑を守る政策、そして自民党の裏金問題にも鋭く切り込んでくれると大いに期待しています。(田頭祐子)

